

# NEWS RELEASE

キャノンマーケティングジャパン株式会社

## ゼロデイ攻撃<sup>\*1</sup>などの高度サイバー攻撃に対応 「ESET セキュリティ ソフトウェア」シリーズの法人向け新製品を発売

キャノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キャノン MJ)は、未知の高度なマルウェアを検出し端末を防御するクラウドサービス“ESET Dynamic Threat Defense(イーセット ダイナミック スレット ディフェンス)”と、端末上の疑わしい動きを分析してサイバー攻撃による侵害の有無を可視化する EDR<sup>\*2</sup>製品“ESET Enterprise Inspector(イーセット エンタープライズ インспекター)”を5月8日より発売します。

<p style="text-align: center;"><b>高度な脅威に対する即時防御力を高める</b></p> <p style="text-align: center;">クラウド型ゼロデイ攻撃対策</p> <div style="background-color: white; color: #00a09a; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <b>DYNAMIC THREAT DEFENSE</b>  <small>イーセット ダイナミック スレット ディフェンス</small> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不審なサンプルをクラウドで解析し数分内に防御</li> <li>● 機械学習、サンドボックスなど最新テクノロジーによる解析</li> <li>● サンプルの挙動など、解析結果を可視化</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>潜む脅威を速やかに発見し対処する</b></p> <p style="text-align: center;">EDR (Endpoint Detection &amp; Response)</p> <div style="background-color: white; color: #0070c0; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <b>ENTERPRISE INSPECTOR</b>  <small>イーセット エンタープライズ インспекター</small> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 疑わしいファイルや悪意ある挙動を可視化</li> <li>● 迅速なインシデントレスポンスを支援</li> <li>● 柔軟なルール・フィルタ設定による誤検知制御</li> </ul>
---	--

近年、企業や官公庁などの組織を標的にしたサイバー攻撃は一層巧妙化、悪質化しています。IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)が発表した「情報セキュリティ 10大脅威 2019」では、組織における脅威の第1位として「標的型攻撃」が4年連続で取り上げられています<sup>\*3</sup>。

標的型攻撃の中でも特に APT(高度で持続的な脅威)攻撃は、標的とする組織に合わせてカスタマイズしたマルウェアを用いたり、ゼロデイ脆弱性を悪用したりするため、既存のウイルス対策ソフトウェアでは完全に防御することが難しくなっています。また、侵害の痕跡を残さないため、標的とする組織に気づかれずに組織内のシステムに長期的に潜伏し、情報窃取や重要システム基盤を破壊する恐れがあります。組織はこうした高度なサイバー攻撃に備えた対策を取り、侵害された場合にいち早く気づき、組織活動への影響を最小限にすることが求められています。

キャノン MJ はこうした脅威に対応するため、未知の高度なマルウェアに対する検出力・防御力をさらに高める“ESET Dynamic Threat Defense”と、万が一侵入してしまった際の事後対応のためにサイバー攻撃による侵害の有無を可視化する“ESET Enterprise Inspector”を新たに販売します。

“ESET Dynamic Threat Defense”は、ゼロデイ攻撃に用いられるような未知の高度なマルウェアを検出し、即座に組織全体の端末を防御するクラウドサービスです。端末で見つけた不審なサンプルをクラウド上の解析環境「ESET Cloud」に自動で送信、解析し、悪質と判断した場合は数分内にブロックします<sup>\*4</sup>。解析結果は統合管理システム“ESET Security Management Center”上から閲覧でき、悪質かどうかの判断やサンドボックスシミュレーションで観察された挙動などの把握が可能です。検出から解析、防御までの処理はすべて自動で行われるため組織のセキュリティ管理者に負担をかけません。また、クラウドサービスであるため、「ESET Endpoint Protection」シリーズのユーザーは、端末へのプログラムインストールが不要で手軽に多層防御機能を強化できます<sup>\*5</sup>。

“ESET Enterprise Inspector”は、組織内の端末から収集したさまざまなログ情報をもとに、端末上の疑わしい動きを検出、分析、調査し、組織内に潜む脅威をいち早く割り出し、封じ込めることができるEDR製品です。検出ルールを柔軟に調整したり独自のルールを設定したりできるため、誤検出を抑制できるほか、調整後のルールに従って過去のイベントを見直すことができ、以前のルールでは見逃していた疑わしいファイルや悪意のある挙動を発見できます。悪質なファイルやプロセスを発見した場合、セキュリティ管理者はプロセス終了や端末のシャットダウン、再起動、ネットワーク隔離などの処置を速やかにリモートで実施できます。

キヤノン MJ は、お客さまの運用負荷を軽減するため、検出ルールのチューニングやレポート提供、インシデント対応などの EDR 運用サービスの提供を 2019 年内に開始します。さらに 2020 年には運用を含めたマネージドサービスを提供する計画です。

「ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ」製品および関連サービスの拡充を推し進めることで、エンドポイントセキュリティ事業において 2021 年に売上 100 億円を目指します。

製品名	価格(税別) <sup>※6</sup>	発売日
ESET Dynamic Threat Defense	1,520円/年～	2019年5月8日
ESET Enterprise Inspector	2,840円/年～	2019年5月8日

※1 ソフトウェアなどの脆弱性が発見されてから対策が講じられるまでにその脆弱性を狙う攻撃、未知の脆弱性を狙う攻撃、既知の脆弱性を悪用する攻撃など。

※2 Endpoint Detection & Response の略。エンドポイントで脅威を検知して、事後対応を支援する製品。

※3 2016年、2017年は「標的型攻撃による情報流出」、2018年、2019年は「標的型攻撃による被害」がそれぞれ第1位として取り上げられています。

※4 ESET Cloud での解析対象となったサンプルの大半を数分以内に解析し、ブロックします。

※5 ESET Dynamic Threat Defense および ESET Enterprise Inspector の利用には、下記いずれかのエンドポイント保護プログラムの導入および ESET Security Management Center による管理が必要です。

- ESET Endpoint Security(V7)

- ESET Endpoint アンチウイルス (V7)

- ESET File Security for Microsoft Windows Server(V7)

※6 1年間のライセンスサポート(通常サポート)料金を含む、各製品の1ライセンス(250ライセンス購入時)あたりの使用許諾料金です。価格はライセンス数に応じて割引料金が適用されます。

---

● 法人のお客さま向け ESET ホームページ : <https://eset-info.canon-its.jp/business/>

● ニュースリリースホームページ : [canon.jp/newsrelease](http://canon.jp/newsrelease)

---

## < “ESET Dynamic Threat Defense” の主な特長 >

### 1. 未知の脅威を自動解析、自動防御

端末で見つけた不審なサンプルをクラウドベースの解析環境「ESET Cloud」へ自動で送信。大半のサンプルは数分内で解析でき、悪質と判断したファイルは全社レベルで自動的にブロックします\*1。ESET へ報告された脅威情報もグローバルレベルで共有されているため、すでに解析済みのサンプルであれば、防御までの即時性がさらに高まります。

※1 ESET Cloud での解析対象となったサンプルの大半を数分内に解析し、ブロックします。

### 2. ESET の最新テクノロジーによる解析

「ESET Cloud」での解析には、3つの機械学習モデルを用いたサンプル比較、サンドボックスによる振る舞い分析、最新のスキャンエンジンによる異常分析など、ESET の最新テクノロジーが用いられています。

### 3. 解析結果のレポート

不審なサンプルの解析結果は統合管理システム ”ESET Security Management Center” で確認できます。悪質なサンプルであるかどうかの判断や、サンドボックスシミュレーションで観察された挙動などの把握が可能です。

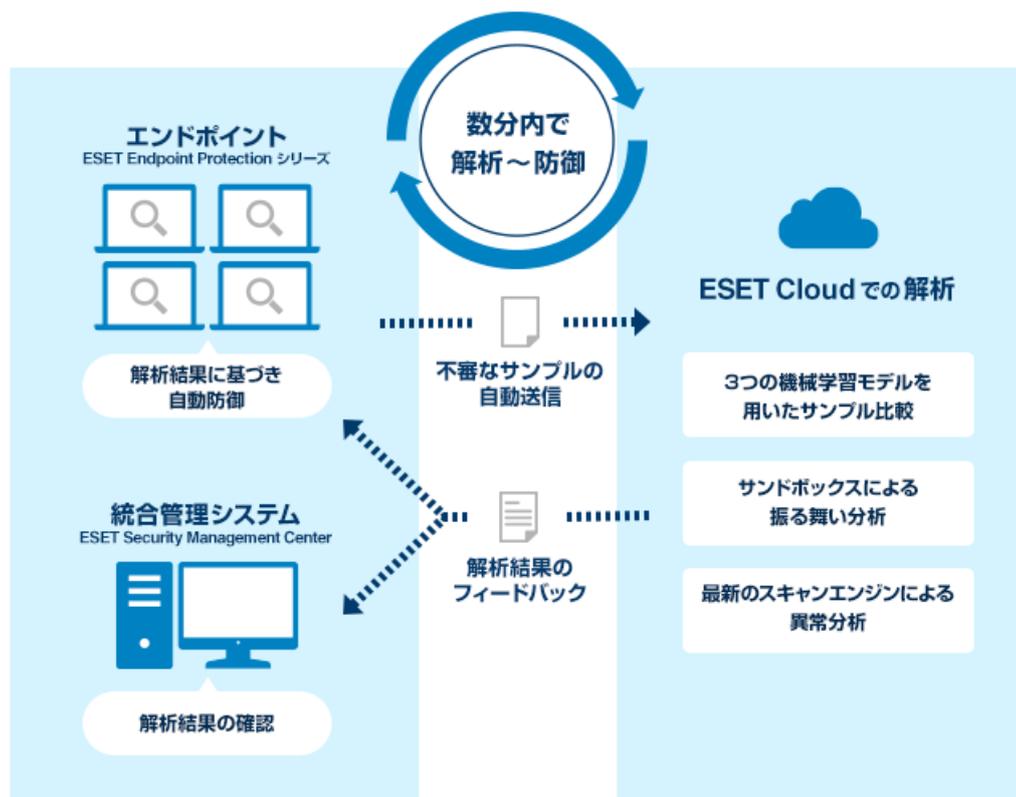
状態	悪意
SHA-1	1322926A4998C7A3A2B231F8E5CD378F80D562ED
サイズ	225バイト
カテゴリ	スクリプト

検出された挙動や特徴

挙動や特徴	ブロックされたURLが検出されました。
説明	サンプルはESETによってブロックされたURLと通信しました。
正当な動作の例	マルウェアに感染していないアプリケーションは通常この動作を行いません。
悪意のある動作の例	マルウェアは攻撃者のサーバーと通信しました。
挙動や特徴	マルウェアは実行せずに検出されました。
説明	サンプルは実行せずにマルウェアとして検出されました。
正当な動作の例	マルウェアに感染していないアプリケーションは通常この動作を行いません。
悪意のある動作の例	マルウェアは実行せずにESET検査エンジンによって検出されました。
挙動や特徴	実行後に検出されたマルウェア。
説明	サンプルは実行後にマルウェアとして検出されました。
正当な動作の例	マルウェアに感染していないアプリケーションは通常この動作を行いません。
悪意のある動作の例	マルウェアは実行後にESET検査エンジンで検出されました。

ファイルの挙動分析レポート

## < “ESET Dynamic Threat Defense” 概要図 >



## < “ESET Enterprise Inspector” の主な特長 >

### 1. チューニング自在な検出感度

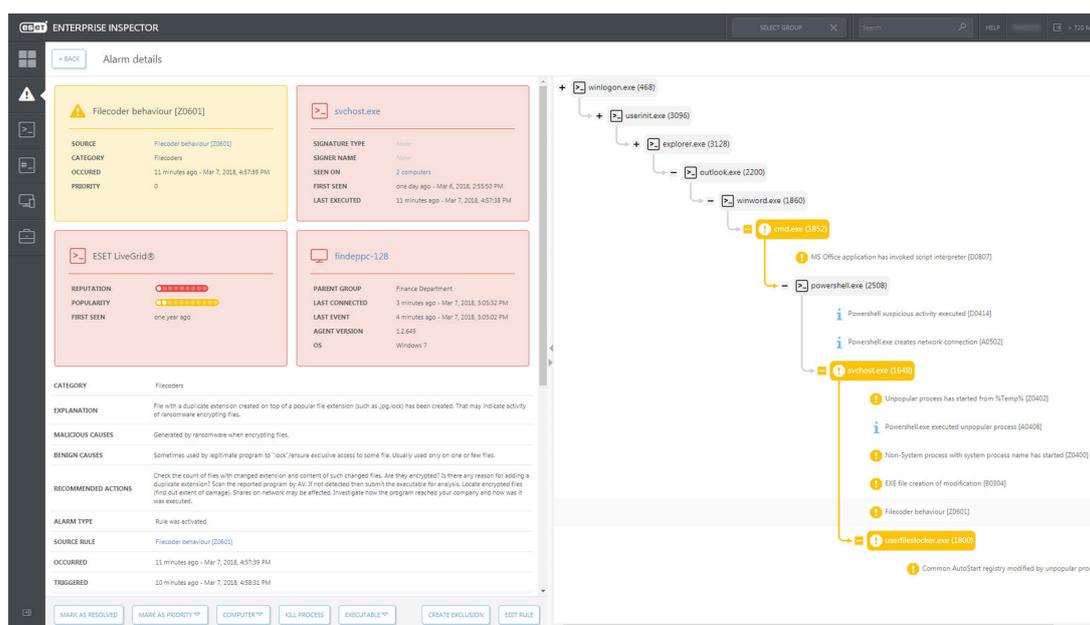
コンピューターグループやユーザーにあわせて検出ルールを調整できるため、誤検出を抑制できます。ルールはファイル名やパス、ハッシュ値、コマンドラインなどを組み合わせて設定できます。

### 2. 過去の脅威も検知

検出ルールを設定した後にイベントのデータベース全体を再スキャンすれば、調整後のルールによって過去のイベントを見直すことができ、見逃していた疑わしいファイルや悪意ある挙動を発見できます。

### 3. 迅速なインシデントレスポンスを支援

悪意あるファイルや不審なプロセスを発見した場合、セキュリティ管理者は検証のためのファイルの入手やプロセス終了のほか、端末のシャットダウンや再起動、ネットワーク隔離などを指示するなど、リモートで速やかに対処できます。



画面イメージ

< “ESET Dynamic Threat Defense” 価格表(税別) >

ライセンス数	企業向け	教育機関向け	官公庁向け
250-499	1,520円	760円	1,140円
500-999	1,390円	695円	1,043円
1,000-1,999	1,270円	635円	953円
2,000-4,999	1,140円	570円	855円
5,000-9,999	1,010円	505円	758円
10,000以上	個別見積もり		

< “ESET Enterprise Inspector” 価格表(税別) >

ライセンス数	企業向け		教育機関向け		官公庁向け	
	新規追加	更新	新規追加	更新	新規追加	更新
250-499	2,840円	1,990円	1,420円	995円	2,130円	1,493円
500-999	2,610円	1,830円	1,305円	915円	1,958円	1,373円
1,000-1,999	2,370円	1,660円	1,185円	830円	1,778円	1,245円
2,000-4,999	2,130円	1,490円	1,065円	745円	1,598円	1,118円
5,000-9,999	1,900円	1,330円	950円	665円	1,425円	998円
10,000以上	個別見積もり					

\* ESET Dynamic Threat Defense および ESET Enterprise Inspector の利用には、下記いずれかのエンドポイント保護プログラムの導入、ESET Security Management Center による管理、および各プログラムに関するライセンス購入が必要です。

- ESET Endpoint Security(V7)
- ESET Endpoint アンチウイルス (V7)
- ESET File Security for Microsoft Windows Server(V7)